

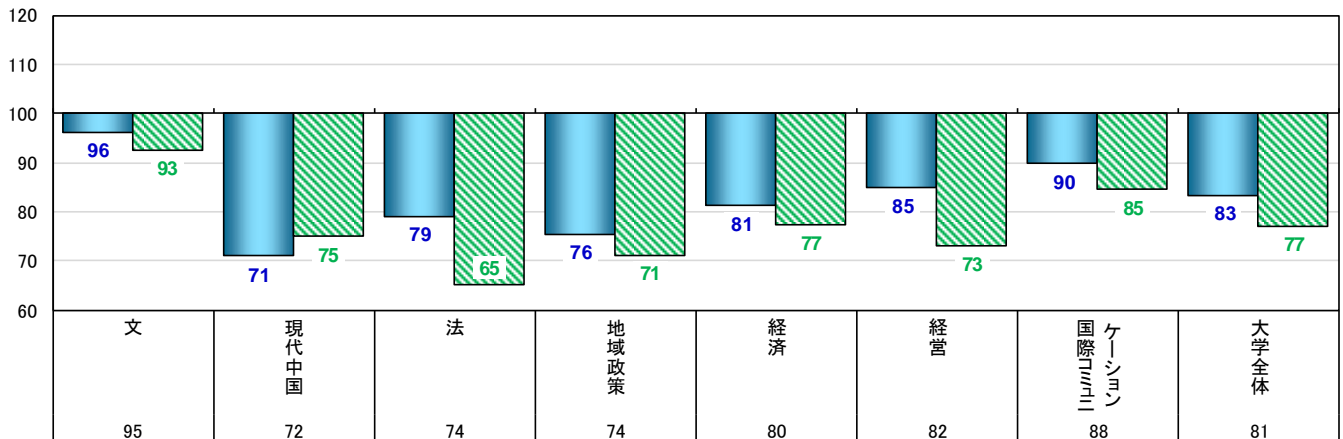
2021 年度入試状況分析【私立大】

愛知大：大学全体では2年連続減少、全学部で減少

一般：-2,603人 共テ：-1,682人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



入試変更点

学科新設：文(人文社会/歴史・地理学)、文(人文社会/日本語日本文学)→文(歴史・地理学)、文(日本語日本文学)
 選抜方法：文(人文社会)〈一般・M方式〉〈一般・後期〉〈共テ・後期〉…学科一括募集→コース別募集
 〈一般・M方式〉〈一般・前期〉〈一般・後期〉…英語外部試験の利用可
 対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC L&R、TOEIC L&R+S&W
 得点加算・英の得点率が70%以上取得した場合のみ加点対象、30点上限加点
 募集人員：文(人文社会/現代文化)…〈一般・M方式〉22人→4人、〈一般・後期〉22人→5人、
 〈共テ・併用〉7人→6人、〈共テ・前期3〉5人→6人、
 〈共テ・後期〉10人→2人
 (人文社会/社会学)…〈一般・M方式〉22人→3人、〈一般・前期〉22人→18人、
 〈一般・後期〉22人→3人、〈共テ・併用〉7人→6人、
 〈共テ・前期3〉6人→5人、〈共テ・後期〉10人→2人
 (人文社会/欧米言語文化)…〈一般・M方式〉22人→3人、〈一般・前期〉18人→20人、
 〈一般・後期〉22人→5人、〈共テ・併用〉6人→7人、
 〈共テ・前期3〉4人→5人、〈共テ・後期〉10人→5人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、4,285人(81)の大幅減少で2年連続減少。方式別では、一般方式は2,603人(83)の大幅減少、共通テスト利用方式が1,682人(77)の大幅減少で2年連続減少。学部別では、全学部で減少。特に、文(95)、国際コミュニケーション(88)を除く5学部は大幅減少。なお、文は、学科を新設したが、一般方式(96)、共通テスト利用方式(93)のいずれもやや減少。

<一般方式>

- 文(96)は、5年連続増加の反動は小さくやや減少。なお、〈一般・M方式〉〈一般・後期〉が学科一括募集からコース別募集に変わったので、単純に学科・専攻別の前年度との比較はできない。
- 現代中国(71)は、2年連続増加の反動で減少率30%近い大幅減少。
- 法(79)は、3年連続増加の反動で大幅減少。志願者数は7年ぶりに2,000人を下回った。
- 地域政策(76)は、前年度2年ぶりの微増から大幅減少。専攻別では、(地域政策/食農環境)(104)が唯一のやや増加。一方で、(地域政策/公共政策)(87)が3年連続減少、それ以外の4専攻はいずれも大幅減少。特に、前年度大幅増加の(地域政策/地域文化)(54)が半減近い。
- 経済(81)は、前年度の大幅増加の反動で大幅減少、前年度3,000人を上回った志願者数は、2,500人を下回った。
- 国際コミュニケーション(90)は、系統への人気低下から減少。学科別では、(国際教養)(81)が大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文(93)は、系統の人気低下もあり、2年連続減少。なお、〈共テ・後期〉が学科一括募集からコース別募集に変わったので、単純に学科・専攻別の前年度との比較はできない。
- 現代中国(75)は、前年度大幅減少に引続き、2年連続大幅減少。志願者数は7年ぶりに300人を下回った。
- 法(65)は、系統の人気低下に加えて2年連続増加の反動もあって大幅減少。志願者数は900人を下回った。
- 地域政策(71)は、前年度大幅減少に引続き、2年連続大幅減少。専攻別では、(地域政策/食農環境)(136)が2年連続減少の反動で、増加率30%以上の大幅増加、それ以外の5専攻はいずれも大幅減少。特に、(地域政策/健康・スポーツ)(51)、(地域政策/まちづくり)(60)、(地域政策/公共政策)(65)は前年度大幅減少に引続き、2年連続大幅減少。
- 経済(77)は、大幅減少で2年連続減少。志願者数は3年ぶりに1,000人を下回った。
- 経営(73)は、2年連続大幅減少。学科別では、(会計ファイナンス)(55)が前年度大幅増加の反動でほぼ半減、(経営)(86)は2年連続減少。志願者数は6年ぶりに900人を下回った。
- 国際コミュニケーション(85)は、系統への人気低下もあって、2年連続大幅減少。学科別では、2学科がいずれも2年連続減少、特に(国際教養)(73)は大幅減少。